

UNION NEWS

<https://www.jrtu.jp>

東海旅客鉄道労働組合

 E-mail sodan@jrtu.or.jp
 東京本部 〒108-0075 東京都港区港南4-1-45
 JR東海品川ビル3階3F (03)6718-1251
 名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-3127

JR東海ユニオン

発行人 尾内 裕昭 / 編集人 鈴木 賢二

第31回定期大会を3年ぶりにフルスペックにて開催！


満場一致で運動方針を決定！
「UNION FUTURE ↓2027」
折り返しとなる5年目の
取り組みがスタート！

7月6日、ホテルアソシア豊橋において、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施したうえで、参集方式により「第31回定期大会」を開催した。各議案の提起、質疑を経て、議案採決の結果、満場一致で全議案が承認されたことを確認した。

今回決定した運動方針に基づき、組合員全員参画で組織のさらなる発展を図るべく、中期目標「UNION FUTURE ↓2027」に基づく5年目の取り組みが新たにスタートとなる。

なお、今年度は記念すべき結成30周年という節目の年となり、記念行事の開催等も含めて満場一致で承認された。

尾内中央執行委員長あいさつ


未だ新型コロナウイルス感染症に晒される中においても、エッセンシャルワーカーとして、国民生活・経済活動を支える社会インフラでもある鉄道事業および医療の維持に対して、強い使命感を持って業務に精励いただいている、全ての組合員に心より敬意と感謝を申し上げる。皆さんとの団結を強化して、この難局を乗り越え、反転攻勢を踏まえ、しっかりと前を向いて歩んでいく。私たちが目指す、中期目標「UNION FUTURE ↓2027」は、将来を見据え、あるべき姿の実現を目指す指針であり、決して揺らぐものではない。労使ともに世代交代が進んでも、労使関係の重要性、そして労使相互の理解と信頼に基づく労使関係を構築していくことの重要性を正しく理解し、次代に継承していく決意を会社との間で強く共有化していかなければならない。「安全の確立」について、安全確保の原点である職場

から、主体性を持った運動で創り上げていく必要があり、分会における取り組みが大変重要である。こうした認識のもと、様々な機会を通じ、労使間で、あるいは組合員相互間で課題認識の共有化に努めていくことが必要である。業務一つひとつに対して「どこん安全に拘って」遂行していく意識を高めていきたい。また、「アサーション（確認会話）」キャンペーンの定着化を更に進め、アサーションを通じて「正しく情報を共有することでのリスク低減」を進めていきたい。職場でアサーションの声掛けがなされ、コミュニケーションが促進されることの「当たり前化」に取り組んでいきたい。そして、JR連合が掲げる「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」に向け、JR東海ユニオンとJR東海連合の連携強化に基づき、JR東海労使での議論と課題解決を図っていく。

「組織の活性化」について、私たちは中期目標「UNION FUTURE ↓2027」に基づき運動を進める中で、組合員同士、組合役員同士ならびに両者相互間の「対話」を充実させる取り組みを強く意識し、活動をブラッシュアップさせている。全職場総対話行動においても、この間の知見や各級機関の尽力により、組合員の意見・要望の集約を果たすことができた。安全に最大限の配慮を置きつつ、個々人が思いを感じることを相互に伝え、理解し、共有を図り、その輪を拡げることが、組合員の想いに応えられる、強くて温もりある組織の構築と強化に繋がっていくと考え。対面の長所を最大限活かして、必要な状況によってリモートなどの長所も必要に応じて運動に取り入れ、組合員の組織異動に関しては、関係機関と連携して緊急職場集会を開催し、把握した実態と今後の対応の共有を進めている。あらためて、組合員の様々な心情へ対応できるのは、健全で強固な労使関係を構築しているJR東海ユニオンだけであることを断言しておく。

「ハートフルカンパニーの実現」について、「ハートフルカンパニービジョン ↓2027」に基づき、緊急性や優先度合いを意識しながら労使協議に反映し、一歩ずつ前進を図る取り組みに注力していく。そして、議論にあたっては離職の実態なども重要な側面として主張し、一つひとつ課題の解決を図っていきたい。加えて、秋以降に全体像が明らかとなる「業務改革」に対しても正面から向き合い、地方本部・総支部と連携し、課題の明確化とその解決に向け取り組んでいく。日々の業務に精励し、懸命なコスト削減にも努め、まさに労働生産性を高めている組合員に報いるためにも、あるべき賃金水準への引き上げや働き方の改革を確実に進めることは重要であり、安心して働き続けられる環境づくりは、労使の共通した認識である。今後も中長期的な視点での到達点も持ちつつ、議論を展開していく。

第31回定期大会スローガン

安全の追求！「みんなでアクション！」

30年間磨き続けたユニオン運動を礎に

「UNION FUTURE ⇒2027」の諸活動をさらに発展させ

将来にわたる組合員・家族の幸せを実現しよう！